

NPO 法人近畿水の塾

平成19 年度事業報告書

平成20年 5 月

継続的な公開研究会『河川塾』の実施

1. はじめに

2000年（平成12年）9月に八幡市で開催した「川に学ぶシンポジウム in 近畿」の終了後、実行委員が川に関する人のネットワークの継続や知識の習得を兼ねて、摂南大学澤井教授を中心にスタートし、2002年（平成14年）年8月よりNPO法人近畿水の塾の事業の一つとして継続している。

2. 実施内容

河川を楽しく、幅広く、実験・具体例（フィールドとしてピオトープづくりや河川蛇行実験など）を併せてわかりやすく学ぶこと、様々なセクターからの受講生が時の話題・情報を提供する。

第1回は2000年11月に始まり、2008年3月の定例会で80回を迎えた。受講生は、学生・行政担当者・コンサルタント・市民など会員及びその紹介を受けたもので、2000、2001年は河川の基礎工学シリーズ、特別フィールドシリーズ（ワーキング）、2002年はマイリバーシリーズ、2003年は河川関連法（自然再生から淀川を例とした河川整備計画）、2004年は淀川の整備計画と水資源、付替え300年を経た大和川など、2005年は琵琶湖・淀川、都市と農、市民参加型公共事業など、2006、2007年はマイジョブ&リバーとして会員の仕事と川などへの関わりを中心に展開した。

回	月/日	内 容
80	3/25	マイジョブ&マイリバー 寝屋川市における環境用水の可能性 (山本 智志)
拡大版	6/2	高槻のローカルヒーローが語る！市民活動37年の足跡 田口 圭介氏
拡大版	7/14	中村 轟（ひとし）氏に聞く ～ブラジル・クリチバの夢～

3. 成果

近畿における川や水辺に関する知識を得、時の情報を共有でき、また各地での活動を知り、様々な団体との交流が図れた。

4. 今後の課題

- ・事前に講座・フィールドの希望内容を会員より収集
 - ・会員・受講生より得た情報などから、不定期に新たな知見を得られるシリーズ（フィールド・講座）の設置
 - ・二級河川の流域連携
- など、新年度に向けた内容等を検討する必要がある。

5. その他

今後の具体の予定として、

- ・マイリバーを継続して、情報を蓄積し交流をはかり、またこれらを紹介しながら川の評価基準により表彰する
- ・河川踏査、写真・資料収集等
- ・干潟事例報告、提案
- ・環境学習の検討報告
- ・河川で合宿 フィールドワーク
- ・古老の記憶を未来へなどを検討中である。

（報告 西河）

回	月/日	内 容
72	2007/4/26	マイジョブ&マイリバー 高瀬川のほとり (宮本 博司)
73	6/28	マイジョブ&マイリバー 自然と文化の森協会の活動紹介と猪名川自然林の植生調査から (白樫 誠治)
74	8/28	マイジョブ&マイリバー 武庫川流域委員会での私の思い (松本 誠)
75	9/25	マイジョブ&マイリバー NPO・行革と公益法人改革の流れから (末村 祐子)
76	10/23	マイジョブ&マイリバー 私の環境年表～行政経験を中心として～ (南 隆雄)
77	11/27	マイジョブ&マイリバー 天若湖アートプロジェクト これまでとこれから (下村 泰史、さとうひさる)
78	12/25	マイジョブ&マイリバー マイリバーとマイチャリンコ (西村 浩一)
79	2008/2/23	マイジョブ&マイリバー 指定管理者制度の功罪、今後のあるべき姿など (樋熊 浩明)

「高槻のローカルヒーローが語る！市民活動 37 年の足跡」 ～ 想いの継承「遺言」～

この記録は、平成 19 年 6 月 2 日(土)の NPO 法人近畿水の塾の総会の記念講演及び事前に田口さんを 3 回ヒアリングしたものをまとめたものです。

「副題に、遺言とありますが、聞いたところによると遺言は何回でも変えられるらしいので、次に会うときは、全然違う遺言を話すかもしれません。今日は、私が高槻でやってきたことをお話しますが、お手柔らかにお願いします。本当は飲みながらがいいのですが、トボトボと行きますのでよろしくをお願いします。」

以下「」内は田口さんの言葉です。

1. 田口さんのプロフィール

- ・ 1942 年大阪府北区で生まれる。
- ・ 3 歳の頃、高槻に疎開し、以後、ずっと高槻で育つ。
- ・ 少年時代は、川や野山で遊び回っていた。
- ・ 昭和 40 年に大阪府に入庁し、大気汚染の研究に携わる。
- ・ 昭和 46 年に高槻公害問題研究会 (TKK) を立ち上げ、高槻の市民活動に取り組む。
- ・ 平成 18 年 3 月にサラリーマンを引退し、現在、TKK の活動とともに、たかつき環境市民会議の水環境保全グループの代表や「芥川・ひとと生きもの」の代表を務める。



少年時代 (二段目左から 2 人目)

「小学校 3 年のとき、神田先生という女の先生が、小さな池に連れて行ってくれた。みんなでカエルの卵を持ちかえてカエルにかえしたときの感動は忘れられない。これが原体験。とても感謝している。」



2. 高槻公害問題研究会 (TKK) の誕生

「ppm だけでは市民はわからない。生きものなら、この生きものがいるから大丈夫と思える。生きものを通じて高槻の環境を考え、それらを高槻市民に伝えたいと思ったのが、観察会をはじめようと思ったきっかけ。」

30 歳で何かやらなければという衝動

高槻に住んでいるけど、実はあまり知らない。

ppm だけでは、わからないことがある。

仲間・西村さんとの出会い

川の石のウラのすばらしい世界

「こんなにすばらしい世界があることを知らなかった。自分が知りたいと思い、次に、みんなに伝えたいと思った。」

3. 高槻公害問題研究会 (TKK) の活動

市民による水質監視 (事業所排水)

「A 社の 2km も続く延伸放流口を、においを頼りにつきとめた。B 社の放流排水の 24 時間サンプリングも行った。夜中にポリビン持って、1 時間ごとに取りにいき、途中警察の職務質問にあった。アセスの前身をやった自負がある。水質監視結果の発表会をやると、その事業所の人 came。その人は、自宅で開いていた塾の生徒のお父さんだった。お互い『いつもお世話になっています。』とかわし、とても気まずかったことを覚えている。」

ボンボン山のゴルフ場開発反対運動

「反対側の山で張り込み、許可なく開発を行っている様子をスクープした。おかしいと思うことはおかしいと言う。なぜ、それを行政がやらないのか疑問。」

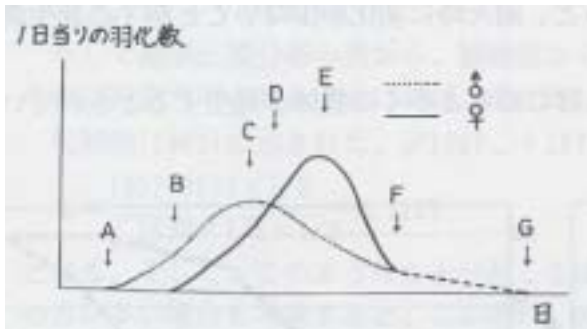
自然観察会

- ・ 生きものから環境を考える。
- ・ サイエンスと市民をつなぐ。
- ・ データは市民のもの

4. 愛しのヒメボタル

「一番好きな生きものはヒメボタル。ヒメボタルは山で生活している。幼虫は、小さな巻貝を食べている。メスは後ろ羽根が退化して飛べない。姫は飛べない。分布は限られてしまう。5 月 10 日～夜寒いころなので、いるのにあまり気づかれない。ほかのホタルより実は身近な環境シンボル。」

学者もびっくりの世紀の大発見



オス・メスの羽化曲線の模式図

A: オス羽化開始 B: メス羽化開始 C: オス羽化最盛期
D: 性比1対1 E: メス羽化最盛期 F: 性比1対1
G: 羽化終了

「オスメス羽化調査を行ったところ、オスが先に出始めて、メスが少し遅れてでてくることがわかった。メスがあとからでる方が、生殖確率が上がり、繁殖に有利なのかもしれない。当時は、まだ知られていなかった。」

3. 数々の修羅場

ゴルフ場開発地でのほりこみ捜査
淀川での砂利取り業者との格闘
森ノ宮で拉致?

「ユンボで追いかけ回されたり、事務所に連れて行かれたり。」詳しくはご本人に直接聞いてください。活字にしにくいので省略させていただきます。

4. TKK (田口さん) の3つの武器

生きもの
・芥川ームカシトンボ
・萩谷 - オオムラサキ

「シンボルとして利用した。間違っていけないのは、シンボルだけを守るのでは問題。しかし、モリアオガエルだけは、どこでも出てくるので、使えなかったなあ・・・。」

府の看板

「府肩書きをフルに活用したなあ」

学者、科学的データ

「説得力を持たすために、学者を使ったり、データを示したり。科学的な根拠は絶対的。」

「環境問題には、サイエンスを入れた形で運動を展開しないとやられてしまうという危機感があった。」



ヒダサンショウウオの卵塊

5. ここまでTKKを続けることができた3つの秘訣

仲間や家族に恵まれたこと
人が好きだったこと。
おっちょこちょいの正義感と負けん気
(虫の代弁、植物の代弁)

6. ニュースレター

「1971年から、最初は毎週発行した。日に2号出したこともあった。2000号までがんばった。特集号の「鶺鴒のヨシ原」はバカ売れだった。」



「50haの鶺鴒にヨシ原がある。最近、乾燥化が進んでいて、つる草(カナムグラ、ヤブガラス)が増え、ヨシを巻き倒してしまう。若いときに芽をつめば何とかヨシもがんばれる。観察会をやったあと実践活動として、昭和50年からずっとやっている。(毎年5回)」

7. ローカルヒーローとは、

~TKKの吉川さんという女性が、田口さんに対して、「田口さんはヒーローじゃないねえ、ローカルヒーローだね」と言いました。その話を聞いた時、僕(足立)はピッタリだなと思いました。さて、皆さんにとって、

ローカルヒーローはどんな人なのだろうか。～

以下、会場の人から意見をいただきました。

Q. ローカルヒーローって？

- ・ヒーローになれなかった、なりたくなかったヒーロー
- ・軸足をふるさとや住んでいる場所にしっかり置いている人
- ・環境問題はローカルヒーローでないとダメ。
- ・やはり仕事を離れて自分の住む街、育った街に戻って地域のために活動することかなあ。私もそろそろ今住む街の山辺をよくする活動に取組みかけている。
- ・人、地域、それぞれに存在するもの。自分にとっては、(人ではないが)やっぱり石川かな。
- ・シンプルなヒーローが一番
- ・考え方の判断基準が地方・地域優先となっている人
- ・コツコツとお金にならないことをやる人。志は高く、理想を語るができる人。でも金と女に縁がない
- ・環境ヒーロー＝ローカルヒーロー。ヒーローになってしまうと地面地域から離れるかな。
- ・身近に感じれるもの。自分でも、もしかしたらなれるかも。ちょっと抜けたところがある。ポロポロになっても愛される。地元で愛され、地元で還る人。
- ・いつも地域のことを考え続けている人。(田口さんのような)カリスマがいて、人や地域が変わる。

Q. ローカルヒーローと言えば？ヒーローと言えば？

- (ローカルヒーロー) : (ヒーロー)
- ・地元活躍型 : 広域で活躍する人
 - ・身近な存在 : 雲の上の存在
 - ・地元を大切に(市会、町会議員) : 国を守る(国会議員)
 - ・ガンバ大阪二川選手(高校の後輩) : ロナウジーニョ(バルセロナ)
 - ・妻 : 広松伝
 - ・学校の先生 : 川口探検隊
 - ・汗をかいた後オーデコロンのさわやかさ : 汗をかいたそのままのさわやかさ(両者さわやか)
 - ・共感・共有 : あこがれ
- 共通点は、(たぶん)家庭はぐずぐずなことが多い

田口さんにとってローカルヒーローは？
「ヒーローは目指せないの・・・。地域に軸足を置いている人。阪神の赤星にはなれたらいいなあ。イチローは無理やけど。あいつががんばるとるなあって思われる人になりたい。」

8. 想いの継承(遺言)

「たぶん福廣さんも一緒と思うけど。すごく人が好き。お酒も好き。地域に惚れる人が増えると、その地域を守る人が増えることになると思う。地域に関心を持って、何とかしたいという思いを持った人が多くなってほしい。

また、身近な生きもののファンを増やしたい。感動をしながら。今日もホテルの観察会が夜にあり、あの幻想的で優雅な光を子供たちに見せたい。本当の喜びを。本当の水、本当の空気を小さなときに経験させてあげたい。後継者いない、つくってこなかったといったが、この場をセットしてくれたのも、ある意味僕の想いを感じてくれた若い人だと思う。ぜひ、次の若い人に想いを伝えていってほしい。今日は本当に感謝しています。」



(報告者：足立)

“活かそう水辺、つなごう流れ”「近畿水環境交流会 in 寝屋川」の開催

毎年、近畿各地から水環境保全に関心と関わりをもつ市民が集い、流域の歴史・文化を学ぶとともに、各地で進めている水環境保全活動を紹介し合い、Eポート乗船を初めとする水面利用の実践を交えながら、よりよい水環境保全と流域間連携のあり方について討論するもので、昨年度は次のような要領で、寝屋川市で実施しました。

日時：2007年7月28日(土)、29日(日)

場所：

- (1 日目) 寝屋川せせらぎ公園(京阪電車寝屋川市駅西側)、摂南大学寝屋川キャンパス
(2 日目) 淀川河川公園点野地区、茨田樋遺跡水辺公園(寝屋川市点野)

内容：

(1 日目)

- 9:30-10:00 受付
(寝屋川せせらぎ公園元気みなと前)
10:00-12:00 寝屋川せせらぎ公園見学、Eポート乗船体験
12:00-13:00 移動、昼食休憩
13:00-13:30 摂南大学ピオトープ見学、田舟クルーズ
13:30-14:00 受付(摂南大学11号館11階スカイラウンジ)
14:00-17:00 シンポジウム
○挨拶 寝屋川市長 馬場好弘
○報告 ねや川水辺クラブ 上田 豪
○講演 「活かそう水辺、つなごう流れ 一流域連携を夢見て動いた10年の歩み」
摂南大学工学部都市環境システム工学科教授 澤井健二
○活動紹介 コーディネーター
まちの会 久保田洋一
淀川愛好会・摂南大学澤井ゼミ・エコシビル部、ねや川水辺クラブ・水辺に親しむ会、やましる里山の会、流域ネットワーク猪名川、芥川クラブ、近木川流域自然大学研究会
17:00-17:30 コンサート
摂南大学吹奏楽部
17:30-19:30 懇親会

(2 日目)

- 8:30-9:00 受付
(淀川新橋左岸側点野船着場前)
9:00-9:30 河川敷清掃
9:30-10:00 開会式、
河川公園利用マナー講習

10:00-12:00 水面利用の実践

12:00-13:00 茨田樋遺跡水辺公園見学、
昼食休憩(点野砂州)

13:00-15:00 Eポートレース

15:00-15:30 閉会式、後片付け

参加者数：約200名

主催：近畿水環境交流会 in 寝屋川実行委員会

主な構成団体：(NPO法人)近畿水の塾、淀川愛好会、
ねや川水辺クラブ、摂南大学地域連携センター

後援：国土交通省近畿地方整備局、環境省近畿地方環境事務所、(独)水資源機構関西支社、(財)河川環境管理財団大阪事務所、(財)琵琶湖・淀川水質保全機構、大阪子どもの水辺ネットワーク、滋賀県、京都府、大阪府、兵庫県、三重県、奈良県、和歌山県、寝屋川市、摂南大学、摂南大学土木会、(NPO法人)川に学ぶ体験活動協議会

助成：近畿建設協会

(報告 澤井)

～猪名川・藻川の清流復元～水辺まつり Eボート体験（報告）

1. 趣旨

日常生活の中において水辺に親しむ機会が少なくなってきた大人や子供たちが少しでも水辺に親しんでもらい、水辺の生物や水辺から見た街の風景など新たな発見を体験してもらう。また、ボートに乗り、力を合わせて漕ぐことから生まれる連帯感や協調性を実感してもらう。

2. 内容

- (1) 日時 2007年9月16日（日）
午前10時～午後3時00分
- (2) 場所 藻川左岸河川敷
(中園橋東詰河川敷／尼崎市田能)
- (3) Eボートの数 1艘
- (4) コース

会場付近から乗船し、水管橋で折り返し帰る。1艘につきスタッフを2名配置し、1回の乗船で参加者10名が乗船。所要時間は15分程度。

(5) 思ったことボード

思ったことボードとしてレジャーテーブルを受付の後ろに設置し、体験後の参加者に自由に感想をポストイット書いてもらった。

3. スタッフ

- ・近畿水の塾 安田、白樫
- ・摂南大学工学部澤井ゼミ 山本智志、北邑祐樹、梅田卓也、高橋晴信、森川綾也

4. 参加者

乗船体験者数 12回運行 約120人

5. スタッフの感想

- ・川の水深が浅く浅瀬があり、漕ぐのが大変だった。また、乗客に子供が多く“推進力”が足りないため、スタッフの学生が胴長を来て、川に立ち船を押ししました。
- ・狭い水域に、Eボート、カヌー、筏、葦船が入り乱れ、ぶつからないように運航するのが大変だった。

6. その他

思ったことボードの意見（一部 原文そのまま）

- ・予想より長い時間乗れて涼しくて良い気分でした。自分で漕げて気持ちよかった。
- ・楽しかったです。オールの動かし方が難しかった。カニを見つけました。
- ・ボートを漕ぐのが初めての子供達、いい経験と楽しい思い出をありがとう。



（報告 白樫）

ホームページの作成・更新等についての事業報告

1. はじめに

当会では平成 14 年 9 月 15 日にホームページを立ち上げ、会の概要、入会方法、事業内容、活動報告などを公開している。

また、会員はメーリングリストに登録し、会員間の情報交換を常に行っている。

2. 実施内容

ホームページの内容は以下のとおり

- (1) 当会の概要等
 - ・ 入会方法
 - ・ 設立の経緯
 - ・ 会員紹介のコーナー など
- (2) イベント情報
 - ・ 当会主催のイベント案内
 - ・ 河川塾案内
 - ・ 他団体のイベント案内
- (3) 活動報告
 - ・ 当会の活動報告
 - ・ 河川塾通信
 - ・ 新聞記事掲載
- (4) リンク集
 - ・ 水環境等の市民団体等のリンク集

3. 成果

平成 19 年 4 月から 20 年 3 月までの間、15 回の更新（通算で 120 回）を行い、常に最新情報を発信した。過去の報告も掲載しているため、会員の資料室としての利用もされている。

4. 今後の課題

- ・ イベントの案内だけでなく、川に関わる活動をしている団体や個人の紹介するなど内容を充実させる。
- ・ 他のホームページにリンクしてもらい広く閲覧してもらおうように工夫する。当会のリンク集も充実させる。
- ・ 現在、有料のホームページサーバーを利用しているが、平成 20 年 7 月から無料のものに乗り換え経費を削減する予定である。



NPO法人近畿水の塾ホームページアドレス

<http://www.geocities.jp/mizunojuku/index.html>

(平成 20 年 6 月末で廃止)

平成 20 年 7 月からは、

<http://www.geocities.jp/npokinkimizunojuku/>

になります。現在、すでに見ることが出来ますので、ブックマークをお願いします。

(報告者：安田 博之)

他団体との交流やネットワークの拡大

○大阪子どもの水辺ネットワークへの参画

大阪子どもの水辺ネットワークの行事への参画としては、5月20日(日)に行われた、淀川下りに協力しました。この催しは、毎年大阪府の治水週間にちなんで開催される、寝屋川流域総合治水フォーラムのプレイベント(フィールドワーク)として企画されたもので、今回は大阪子どもの水辺ネットワークの主催で行なわれました。

日時：2007年5月20日(土)

午前9時半～12時

場所：淀川本川(点野～庭窪)

プログラム：

9時半 寝屋川市駅前集合

10時 マイクロバスで点野船着場へ移動

10時半～11時半 Eボートで淀川下り
(ゴム2艇、プラスチック1艇)

参加者：約30名

○BYスタンプラリーへの参画

近畿水の塾は琵琶湖・淀川水質保全機構の運営によるBYスタンプラリーの協賛団体になっています。

水の塾が主催していて、一般の方が参加できる行事では、希望者にスタンプを押しています。私たちが他の団体の主催行事に参加したときには、スタンプを押してもらい、集めたスタンプを機構事務局に送ると、景品がもらえるしくみになっています。

(報告 澤井)



他団体との交流やネットワークの拡大『川を流域住民に取り戻すための全国シンポジウム』への参加

1. はじめに

2007年8月11・12日の両日、徳島大学の太塚講堂にて、「川を流域住民（あなた）に取り戻すための全国シンポジウム」が開催された。シンポジウムそのものの詳細は方々で報告されているので、ここでは、参加しての僕の感想を中心に報告したい。なお、このシンポジウムには、我が近畿水の塾メンバーからは僕を含めて少なくとも3名の参加があった。

2. シンポジウムの立ち上げ

同志社大学社会的共通資本研究センター長の長老宇沢弘文先生が実行委員代表で、吉野川と言えば、「あの姫野雅義さん」が現地実行委員代表の実行委員会主催のものでした。行政とは、一切無縁で、市民1000人を集めようという企画であった。実行委員の数はどれくらいだったろう。僕自身も実行委員の末席にいたが、総数を把握していない。07年の初め頃に、姫野さんから呼びかけがあって、参加させて貰ったのであるが、その時にはもう既に現地相当の準備が進んでいる、雰囲気であった。3月と7月の2回、同志社大学で全国実行委員会が催されたのであるが、それには、各回50名近い人達が集まっていた。そこには、僕が大ファンの、川那辺浩哉先生などもおられ、河川塾の講師もして頂いた武庫川流域委員長の松本誠さん、大熊先生、今本先生達と、アフターを京都鴨川界隈で楽しんだものである。また、その実行委員からの呼びかけで、「シンポジウム、呼びかけ人」と言うスタイルをとった。シンポジウム直前の8月10日時点で、394人を数えた。呼び掛け人は、参加予約者でもあり、会費1000円のカンパ者でもあり、本当に知人に呼び掛け、誘ってくるメンバーでもあった。知恵を絞った、素晴らしい、そうした仕組みによって、結果、1000人には届かなかったが、800人近い人々の参加であった。

3. シンポジウムの登壇者たち

実行委員、呼びかけ人の中の方たちが多かったけど、2日間のシンポの登壇者は、いちいち羅列の紙面余裕がないが、我々に馴染み深い人だけでも、おなじみ大熊孝、宮本博司、今本健博、松本誠、嘉田由紀子、中村敦夫、野田知佑などの皆さん方総勢17名であった。新進気鋭の緑のダム学者、藏治光一郎とは、印象的な出会いであったし、個人的には20年ぶりのジャズピアニスト河野康弘。新聞記事だけで知っていた、財政学の神野直彦先生の話の判り易さ、面白さを新発見。シンポジウム喋りではなかったが、各政党からの政治家も参加した。

4. エクスカーション

エクスカーションは、選択に困る魅力揃い。我が仲間の西村浩一さんと大熊先生率いる吉野川沿いサイクリング。僕は、フリースタイルで、第十堰スイミング少々である。写真の様子である。もっと凄いのは、8月12日は阿波踊りの当日である。最初は混雑を避けて、別の日を、設定していたのであるが、現地実行委員会のホスピタリティで、「全国からのお客様さんに徳島最高盛り上がりの日にお迎えしよう」。恐らくは、どんなにか、宿の仮予約等にご苦労されたことか！この辺に、本当の川好きの本性が垣間見える。勿論、我々も、普段大阪から約2時間でアクセスの明石海峡大橋経由は、倍の4時間と言う事で、和歌山アクセスをしたのであるが。

5. 感想

いわば、たかが堰、川の横断構造物。これに掛ける姫野さん達の思い。原点は、子供の頃あの川で遊んだ、清冽な思い出であり、その景色の現存に対する敬意であろう。僕は、名張の川を、蹂躪されながら、黙認してきた。姫野さん達の発言と行動に最大級の敬意である。原社会の舞台である原風景は、過去を懐かしむだけのものではなく、再生産されていく。これは地元人の暮らしを慈しむというボトムアップの施策決定の代表、象徴である。技術と仕組みの上手な融合の施策決定提案である。今の施策であるトップダウンへの大きな代案であろう。それをしかもしゃちほこばって、口角泡を飛ばして語るのではなく、もてなしと楽しみの場をねらっている。それを社会の目標にするのが国民総幸せ(GDH)というものだろう。徳島の地から発信を続け、全国に及ぼした影響ははかりしれない。それを記念するシンポジウムであった。



(吉野川第十堰上を、歩いているのは肥えた僕ではありません、友人。僕は右奥の方の川中の小さな点。)

河川塾内容一覧

場所：河川情報センター6F会議室（第49回まで） 環境情報センター（第49回から）

回	日時	講師 & テーマ
第1回	平成12年 11月30日(木)	第1限一定例講義—(澤井)「河川学原論」その1 『河川とは、「望ましい」川の姿』 第2限一川の情報交換—(白木)『澤井先生のマイリバー 日野川』 大阪府での『水辺の学校』、『流域懇談会』開催状況(野添) 『よこはま かわを考える会ニュース』の紹介(福廣)
第2回	12月21日(木)	第1限一新シリーズ—報告「近畿の川～探訪～」番外編 『木曾川 自然共生研究センターと河川環境楽園』 第2限一定例講義—(澤井)「河川学原論」その2 『流域と氾濫域、川の定量的な捉え方』 第3限一川のなんでも情報交換—話題提供 「川に学ぶ」シンポジウムin近畿(足立) 『川のなんでも市』のふりかえり 河川審議会計画部会中間答申(勝山) 「流域での対応を含む効果的な治水のあり方」 平成12年度大阪府河川協会講演会の開催について(野添)
第3回	平成13年 1月18日(木)	第1限—シリーズ—報告「近畿の川～探訪～」『春木川・津田川と近木川』 第2限一定例講義—(澤井)「河川学原論」その3 『普段の川—現実の川における問題点』 第3限—特別講義—水資源開発公団(福田)『河川災害について』 第4限一川のなんでも情報交換— 『流域での対応を含む効果的な治水の在り方について』(西下) 『石川で遊ぶ—バードウォッチングin石川』(藤山)
第4回	2月15日(木)	第1限—シリーズ—報告「近畿の川～探訪～」 『澤井先生のマイリバー—日野川の池作りに参加してきました』 第2限—徹底討論—『マイリバーとの関わり…日野川の池作りを例として』 第3限一川のなんでも情報交換— 『第4回淀川討論会』のお知らせ(2/24)(澤井) 『進めよう、いのちあふれる都市づくり～神戸地域生物多様性保全シンポジウム～』のお知らせ(2/24)(安田) 『春木川・轟川市民のつどい』のお知らせ(3/4)(白木江都子) 『川の世界 加古川』加古川を題材にした総合学習の副読本のご提供(田中)
第5回	3月15日(木)	第1限—自習—(澤井先生定例講義休講のため) 「川のH条件」森下郁子 他/著『陸水生態学からの提言』～魚の「すめる」川から魚の「すむ」川へ 第2限—シリーズ—報告「近畿の川～探訪～」『南河内 石川』
第6回	4月19日(木)	第1限—情報提供—(木村)報告「近畿 川ものがたり」 第2限—定例講義—「河川工学」基礎編(澤井) 河道の中の流れについて 第3限「川と人とのつきあい方」 第4限「河川に関するQ&A」 第5限—話題提供—(岡田)「Landscape Kansai」(春号)
第7回	5月15日(火)	第1限—定例講義—「河川工学」基礎編2 ～土砂が動く～ 第2限—Q&Aコーナー及び情報交換—
第8回	6月19日(火)	第1限—定例講義—『河川工学』基礎編—3 第2限「川に関するQ&A」「川のお悩み相談室」「情報提供」
第9回	7月17日(火)	第1限「赤目エコリゾート」合宿の報告 第2限澤井塾 小学校3年生に対する授業メモを元に意見交換会 第3限春木川の河川改修 第4限その他
第10回	9月8日(土) 名張 土谷邸	8月21日(火)台風11号のため、中止となり9月8日が第10回となる (1)澤井先生の『Eポート』【川に学ぶ!】 ①「シンポ1周年!」 ②「シンポふりかえり!」

河川塾内容一覧

場所：河川情報センター6F会議室（第49回まで） 環境情報センター（第49回から）

回	日時	講師 & テーマ
第11回	10月16日(火)	第1限 — 情報提供 — 『川に学ぶ体験活動発表交流会について』川に学ぶ」シンポふりかえり等 (参加者の中での自由なフリートークの時間)
第12回	11月20日(火)	第1限—シリーズ—報告「近畿の川～探訪～」『河内—長瀬川』 第2限—一定例講義—『河川工学』基礎編—4 (澤井)
第13回	12月18日(火)	座談会+忘年会
第14回	平成14年 1月22日(火)	第1限—シリーズ—「近畿の川～探訪」 『泉州 槇尾川』 第2限—一定例講義—『河川工学』(澤井)
第15回	2月19日(火)	フリータイム 『川』のおしゃべりタイム(情報交換) 第1限—一定例講義—『河川工学』(澤井) 第2限 「私の好きな川、嫌いな川アンケート」
第16回	3月13日(水)	— いってらっしゃい、土谷さん! — 大々壮行会 主 催：(仮称)『近畿水環境ネットワーク』準備会
第17回	4月17日(水)	※4月から第3水曜日に変更いたしました 新シリーズ 『マイリバー紹介』 堺市 土居川(その1) (西河)
第18回	5月22日(水)	新シリーズ—プレゼンテーション—『マイリバー紹介』 堺市 土居川(その2) (西河) 第1限—フリーディスカッション—『土居川について』 第2限—講 評—『川の学校』(澤井)
第19回	6月19日(水)	新シリーズ—プレゼン—『マイリバー紹介』 堺市 土居川(その3) (西河) 第1限—フリーディスカッション—『土居川について』 第2限—講 評—『川の学校 土居川編』(澤井)
第20回	7月17日(水)	シリーズ—プレゼン—『マイリバー紹介』 三重 名張川(その1) — (川上・福廣) 第1限—フリーディスカッション—『名張川について』 第2限—講 評—『川の学校 名張川編』(澤井)
第21回	9月18日(水)	シリーズ—プレゼンテーション—『マイリバー紹介』 三重 名張川(その2) — (川上・福廣) 第1限—フリーディスカッション—『名張川について』 第2限—報 告 会—「川の日ワークショップ」 グランプリ—寝屋川再生ワークショップ(澤井) 準グランプリ—牛滝川(野添)
第22回	10月16日 (水)	シリーズ—プレゼンテーション—「NPO法人 近畿水の塾」 — 理事長 福廣さん 副理事長 澤井さん 第1限—報 告 会 1—「大阪 川めぐり」(古川) 第2限—報 告 会 2—『第2回川に学ぶ体験活動発表 交流会in北九州』(川上)
第23回	11月20日(水)	第1限— シリーズ マイリバー紹介 「近木川 汽水ワンド」(白木) 第2限—報 告 会—『第2回川に学ぶ体験活動発表交流会in北九州』(福廣)
第24回	12月18日(水)	—特別シリーズ 流域間交流会—「大阪府 石川と近木川」(寺川・白木) 川における市民と行政の協働とは?・ミニワークショップ開催
第25回	平成15年 1月13日(月・祝)	— 河川塾フィールドワーク — 「大阪府 石川」—(勝山) 石川流域講座生との意見交換会
第26回	2月16日(日)	— 河川塾フィールドワーク — 「大阪府 近木川」—(白木)
第27回	3月12日(水)	— マイリバーふりかえり — 九州川の日ワークショップ松浦川の報告(福廣)
第28回	4月16日(水)	— 河川関連法についての自主学習 — 「自然再生法ってどんななん?」 — レポート — 「淀川 平成ワンドと木工沈床工」

河川塾内容一覧

場所：河川情報センター6F会議室（第49回まで） 環境情報センター（第49回から）

回	日時	講師 & テーマ
第29回	5月21日(水)	ー 河川関連法についての学習会 ー 第1限ー 講義ー「自然再生推進法の解説」 講師：大阪府環境農林水産部 池口主査 第2限 全体討論会 「自然再生推進法とは？」
第30回	6月18日(水)	ー「水辺空間と人の関わり」ー 京都造形芸術大学 学生チームの木津川精華町での調査発表会（下村）
第31回	7月16日(水)	ー「近木川 自然再生事業」ー 大阪府貝塚市近木川での自然再生事業に向けての課題・取り組み方（白木）
第32回	8月20日(水)	ー「近木川 自然再生事業」ー 大阪府貝塚市近木川での自然再生事業に向けての課題・取り組み方（澤井）
第33回	9月17日(水)	第1限、「近木川」 第2限、「私の水辺」大発表会2003～水辺や水辺活動の評価手法、評価基準を考える～
第34回	10月15日(水)	第1限ー第4回全国源流シンポジウムin高津川大会ー 報告（福広） 第2限ーマイリバー紹介ー 尼崎市「庄下川」ー （安田）
第35回	11月22日(土)	リバーウォッチング庄下川 よみがえれ庄下川～川・人・街の風景～ （午後1時～5時）
第36回	12月17日(水)	ー北桂川の流域見聞についてー （下村）
第37回	平成16年 1月21日(水)	シリーズー淀川水系流域委員会「意見書」を読むー ～淀川河川整備計画基礎原案から（1）～（澤井）
第38回	2月18日(水)	シリーズー淀川水系流域委員会「意見書」を読むー ～淀川河川整備計画基礎原案から（2）～（澤井）
第39回	3月17日(水)	ー 河川塾フィールドワーク ー 摂南大学実験視察 ～近木川汽水ワンド実験～
第40回	4月21日(水)	シリーズー淀川水系河川整備計画策定について ～流域委員会の活動について（1）～（川上）
第41回	5月19日(水)	マイリバー 寝屋川再生ワークショップからの報告（上田、澤井、久保田）
第42回	6月16日(水)	シリーズー淀川水系河川整備計画策定について ～流域委員会の活動について（2）～（川上）
第43回	7月21日(水)	シリーズー大和川を語る ～都市河川としての大和川の過去・現在・未来～（角野）
第44回	8月18日(水)	レポート ①大和川・淀川流域連携水環境交流会2004 ②新潟・福井水害
第45回	9月15日(水)	歴史と文化の中の川づくりを考える ～近畿水の塾への期待、役割～（角野）
第46回	11月17日(水)	水資源と環境 ～淀川水系の水資源の量と質～（大阪府立大学荻野教授） ※10/20の河川塾は台風23号の接近で中止になりました。（被害を受けられた皆さまには心よりお見舞い申し上げます。）
第47回	12月15日(水)	シリーズ NPO活動と市民協働の実態 ～三島グランドワークにおける政策自主研究報告（速見）
第48回	平成17年 1月19日(水)	シリーズ NPO活動と市民協働の実態 ～NPO法人里山倶楽部の紹介～（寺川）
第49回	2月17日(木)	シリーズ 堺7-3区共生の森の活動紹介（速水）
第50回	3月16日(水)	シリーズ 浜寺水路でのコンブ育成実験（前田）
第51回	4月27日(水)	シリーズ おおさかレインボウプロジェクト ～雨みずからはじめる豊かなまち～（足立）
第52回	6月22日(水)	シリーズ 都市と農の共生する地域 （まち）づくり都共生ネットこうべ(非営利組織) 本位田 有恒氏
第53回	8月31日(水)	シリーズ 淀川流域委員会からの報告（澤井）
第54回	9月28日(水)	シリーズ 寝屋川再生ワークショップからの報告（久保田、澤井）

河川塾内容一覧

場所：河川情報センター6F会議室（第49回まで） 環境情報センター（第49回から）

回	日時	講師 & テーマ
第55回	10月26日 (水)	シリーズ 淀川流域委員会からの報告（その2）（澤井） 於：琵琶湖・淀川水質保全機構（BYQ）4階会議室
第56回	11月26日 (土)	ー 河川塾フィールドワーク ー ～寝屋川駅前せせらぎ広場と点野ワークショップ見学～（上田、澤井）
第57回	12月27日 (火)	レポート 都市のウォータースケープ計画に関する国際ワークショップ ～水によみがえる懐かしい未来都市 堺～（久保田）
第58回	平成18年 1月25日（水）	マイジョブ&マイリバー 水の家からウォーターサロンへ BUD代表 上岡康宣氏 於：ウォーターサロン
第59回	2月22日（水）	シリーズ 琵琶湖・淀川水系での水環境保全 ～BYQの取組みについて～（河野） 於：琵琶湖・淀川水質保全機構（BYQ）4階会議室
第60回	3月22日（水）	近畿水の塾や河川塾の一年をふりかえるワークショップ ファシリテーター：久保田
第61回	4月25日（火）	マイジョブ&マイリバー 水と人と自然 竹尾敬三
第62回	6月28日（水）	シリーズ 淀川水系流域委員会からの報告 ～河川整備計画基礎案に係る事業進捗状況の点検～ 澤井健二
第63回	7月27日（木）	シリーズ 芥川・ひとと魚にやさしい川づくりネットワーク」の取組み TKK自然観察会代表 田口圭介氏、 中山香代子
第64回	8月22日（火）	マイジョブ&マイリバー 日本とドイツの水の使い方の差、ヴァーチャル・ウォーター、 地球温暖化について 疋島巖
第65回	9月26日（火）	レポート 水郷・水都全国会議大阪大会から得たもの（ここだけの話） 久保田一、久保田洋一
第66回	10月24日 (火)	マイジョブ&マイリバー 道頓堀川を中心として変わりはじめたミナミ 有限会社エイライン 横山 葵氏
第67回	11月29日 (水)	マイジョブ&マイリバー 仕事の広がり、人つながりから 白木江都子
第68回	12月26日 (火)	シリーズ 公共交通機関としてのLRTの可能性について 石塚昌志
第69回	平成19年 1月23日（火）	マイジョブ&マイリバー 環境調査の実状 米花正三
第70回	2月28日（水）	拡大版河川塾 LRT試験線(トランスロール)試乗、研修センター見学など 案内 石塚昌志
第71回	3月20日（火）	マイジョブ&マイリバー 真言宗醍醐派総本山「醍醐寺」全山改修30年計画 磯貝猛
第72回	4月26日（木）	マイジョブ&マイリバー 高瀬川のほとり 京都樽屋「樽徳」会長 宮本 博司
第73回	6月28日（木）	マイジョブ&マイリバー 自然と文化の森協会の活動紹介と猪名川自然林の植生調査から 白樫 誠治
第74回	8月28日（木）	マイジョブ&マイリバー 武庫川流域委員会での私の思い 松本 誠（武庫川流域委員会委員長）
第75回	9月25日（木）	マイジョブ&マイリバー NPO・行革と公益法人改革の流れから 末村 祐子（大阪経済大学客員教授）
第76回	10月23日（木）	マイジョブ&マイリバー 私の環境年表～行政経験を中心として～ 南 隆雄
第77回	11月27日（木）	マイジョブ&マイリバー 天若湖アートプロジェクト これまでとこれから 下村 泰史&さとうひさ彥（アートプランまぜまぜ）
第78回	12月25日（木）	マイジョブ&マイリバー マイリバーとマイチャリンコ 西村 浩一（毎日新聞編集委員）
第79回	平成20年 2月23日（土）	マイジョブ&マイリバー 指定管理者制度の功罪、今後のあるべき姿など 樋熊 浩明（西武造園株式会社） 於 アピオ大阪4階松の間
第80回	3月25日（火）	マイジョブ&マイリバー 寝屋川市における環境用水の可能性 山本 智志
第81回	4月23日（水）	マイジョブ&マイリバー 自然環境回復は、人間性の回復だ！！ 前田 誠一郎 於 大阪駅前第2ビルキャンパスポート大阪

河川塾 番外編・拡大版

平成13年2月12日(月) 午前10時から午後5時 澤井先生のマイリバー『日野川』 日野川の河川敷に手づくりの親水空間 『ピオトープの池』を作ろう!
平成13年6月30日(土)～7月1日(日) 三重県名張市『赤目の森 エコリゾート』他 赤目の森ハイキング NPO「赤目の里山を育てる会」の活動講演 赤目の里でホテル観察会 澤井河川塾 大討論会 探索 名張川 まちかど散歩 『名張』 e t c. …
平成13年5月27日(日) 午前10時～ 澤井先生のマイリバー『日野川』 日野川の河道内に人工的な交互砂州を作ってみる! L=約200mの実験区をつくり、梅雨時の変化状況を調べる。
平成14年4月14日(日) 午後3時～5時 5月19日(日) 午後2時～4時 現地見学会 『マイリバーに出かけよう!』 堺市二級河川 内川水系土居川
平成14年10月12(土) フィールドワーク第1弾「大阪 川めぐり」(古川)
平成14年12月1日「私の水辺大発表会」第2次発表会(ドーンセンター) 近畿水の塾参加発表
平成15年4月3日(木) 13:00～17:00 一河川塾フィールドワーク 大阪府 淀川 ～淀川長柄橋上流右岸木工沈床見学会～ (澤井)
平成15年4月23日(水) 18:30～21:30 「柳川堀割物語」ミニ上映会 交流会 21:30～
平成15年7月21日(祝) 11:00～16:00 フィールドワーク 「木津川 水辺空間と人の関わり」一京都造形芸術大学 木津川チーム の取組み
自然再生連続シンポジウム 第1回 平成16年2月22日(日) 12:30～15:30 於:NPOプラザ 「法に託された思いと可能性」 話題提供:佐藤寿延さん(環境省)、恵小百合さん(江戸川大学) 第2回 平成16年3月13日(日) 13:30～16:30 於:UFJ総研 「自然環境権と自然再生推進法」 話題提供:池上徹さん(弁護士)、佐藤寿延さん(環境省) 第3回 平成16年4月24日(土) 13:30～16:30 於:UFJ総研 「自然再生推進法をどう使おう?」 参加者全員によるディスカッション
平成16年10月30日(土) 13:30～ 於:大阪府環境プラザ 「旭川源流の碑」の活動 竹原和夫さん(旭川流域ネットワーク)
平成17年2月26日(土) 13:30～ 於:大阪府環境プラザ ワークショップ&交流会 ～近畿水の塾振り返り～ (話題提供)舞岡・世田谷まちづくり委員会の活動から指定管理者制度について(佐藤)

平成17年11月12日(土) 於：尼崎市立小田公民館
 技術の自治とは?～市民も参加する公共事業～ 映画「阿賀に生きる」を監督と観る
 1部 12:30～15:00「阿賀に生きる」上映と解説
 2部 15:15～17:00
 (講演)「技術の自治とは?～市民も参加する公共事業～」
 (講師)大熊孝氏(新潟大学教授・阿賀に生きる製作委員会代表)
 (ゲスト)佐藤真氏(「阿賀に生きる」監督・京都造形芸術大学教授)

平成17年11月26日(土) 河川塾フィールドワーク(第56回河川塾)
 ～寝屋川駅前せせらぎ広場と点野ワークショップ見学～
 1部 12:00～ 寝屋川駅前(西側)せせらぎ広場見学
 2部 13:30～16:00 ワークショップ見学
 於：摂南大学スカイラウンジ(11号館11階、第5会議室)
 案内：(寝屋川市役所)上田氏、(摂南大学工学部)澤井氏

平成19年2月28日(水) 拡大版河川塾(第70回河川塾)
 ～堺浜 LRT試験線(トランスロール)試乗、研修センター見学など
 1部 14:20～ 堺浜 LRT試験線の説明と試乗
 2部 16:10～ 大小路 LRT研修センター見学
 3部 17:15～ 阪堺電気軌道(チンチン電車)にて 石津駅「さかなや」にて懇親会
 案内：(堺市役所)石塚氏

平成19年6月2日(土) 14:30～16:00 於 環境情報プラザ 総会終了後 記念講演
 高槻のローカルヒーローが語る!市民活動37年の足跡 田口圭介氏

平成19年7月14日(土) 14:00～17:00 於 アピオ大阪4階竹の間
 中村 轟(ひとし)さんに聞く ～ブラジル・クリチバの夢～ 裏話や失敗話も